

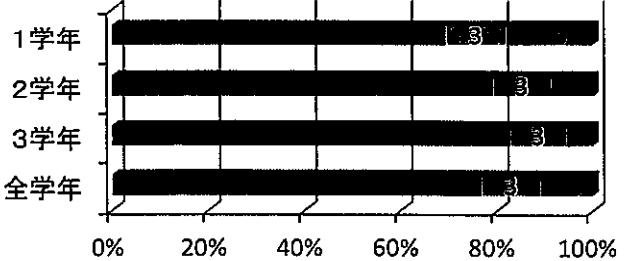
# 平成30年度学校評価アンケート(最終まとめ)

先日ご協力いただいた、学校評価アンケートの集計がまとまりましたので、結果を報告させていただきます。回答率は96.0%でした。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。今回の結果をこれからの教育活動の改善に活かしてまいります。

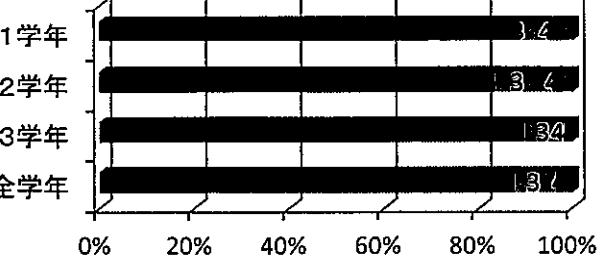
1:そう思う 2:ややそう思う 3:あまり思わない 4:思わない 5:よくわからない

## 【全体】

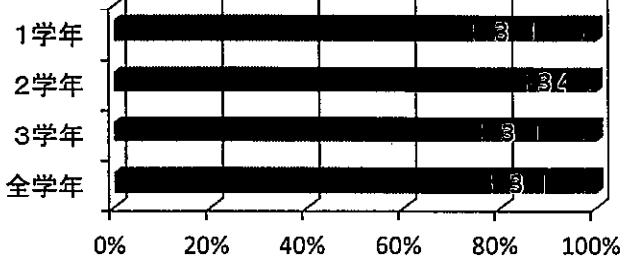
(1)学校は、教育目標や経営方針を保護者・地域の方にわかりやすく伝えている。



(2)生徒は、楽しく充実した学校生活を送っている。

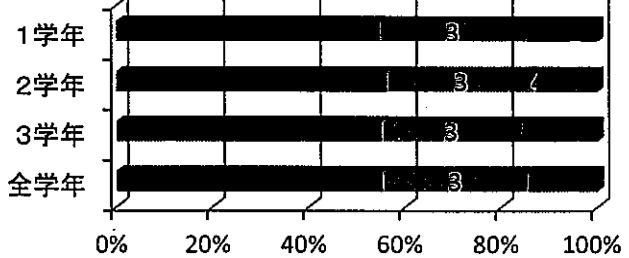


(3)学校は、子どもの努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。

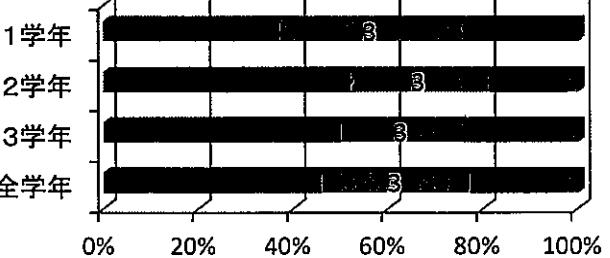


## 【重点】

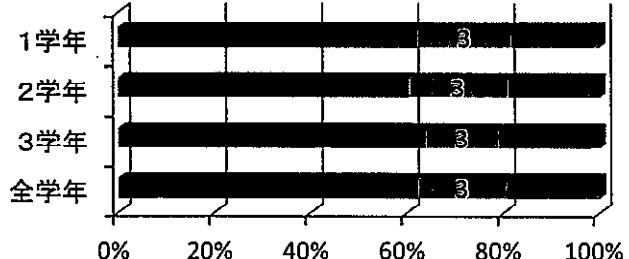
(4)生徒は、防災に対する意識が高まってきている。



(5)生徒は、本を読む習慣が付いてきている。



(6)生徒は、自ら家庭学習する習慣が身に付いている。

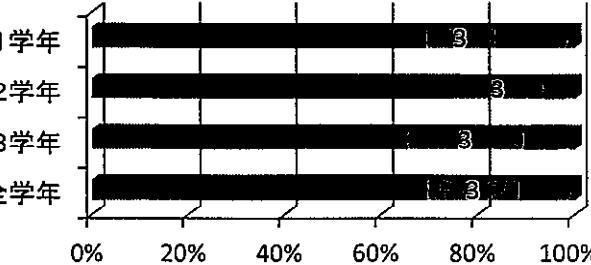


## 【分析】

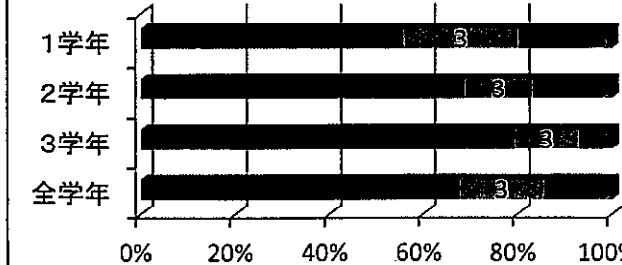
(4)の「防災への意識の高まり」については、防災ジュニアスタッフの育成の成果を全校で共有し、防災意識の向上に努めました。今後も多角的に取り組んでいきます。(5)の「読書習慣」については、全学年では肯定的な回答が昨年度より下回り、5割未満でした。朝読書は継続し、図書館やミニライブラリーの活用を呼びかけています。教科の学習や特別活動においても図書を積極的に活用し、探究的な学びの姿勢を育成します。(6)の「家庭学習の習慣」については、昨年度同様、家庭学習ノートに取り組みました。課題を自ら設定し、必要な学習の補充ができ、学力向上につながる指導を推進します。

## 【学習】

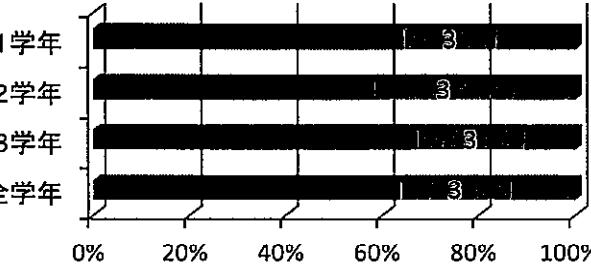
(7)生徒は、学習のルールをきちんと身に付け、落ち着いて学習している。



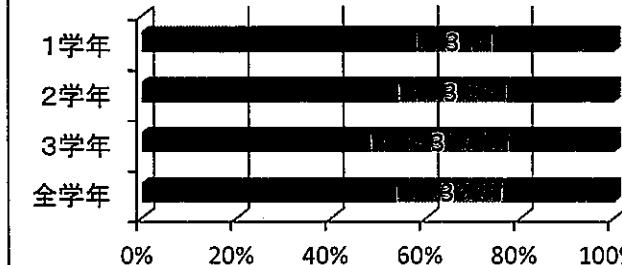
(8)生徒は、基礎的・基本的な知識や技能が習得できている。



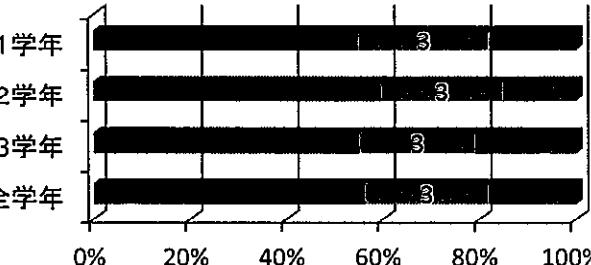
(9)学校は、宿題や課題を適切に与え、家庭学習が充実するよう工夫している。



(10)学校は、放課後や長期休業中に補充学習を行い、一層の基礎的な学力が身に付くようにしている。



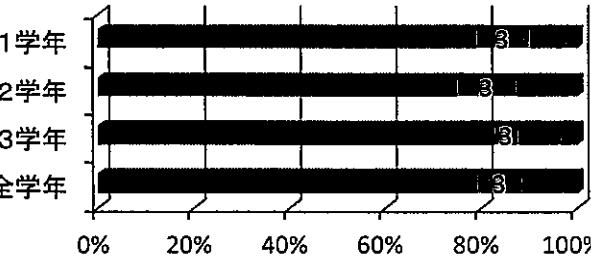
(11)学校は、生徒の学習の評価を適切に行い、個に応じた指導を進めている。



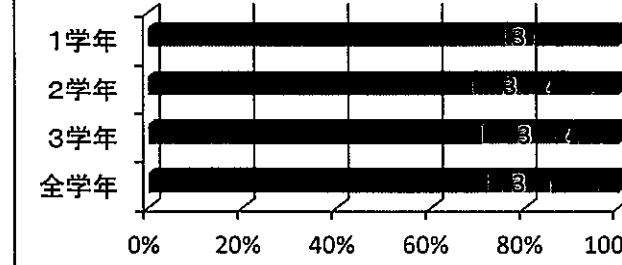
[分析](7)の「学習のルールの定着」では、学年により差はあるものの、肯定的な回答は7割程度で昨年度並でした。学力の向上は規律ある学習態度に裏付けされます。今後も周知徹底を図ります。(8)の「基礎的・基本的な知識・技能の充実」では、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が高くなっています。「千川中スタンダード」の徹底と「振り返り」及びICT機器を活用した学習指導を推進しました。引き続き、授業改善に取り組みます。(9)の「宿題や課題の適切な与え方」では、学力の確実な定着をねらいとして今後も提示していきます。(10)の「補充学習」では、夏季休業中や放課後のチューターによる学習教室に加え、定期考查前の「質問教室」を「学習教室」と改め、基礎学力の定着を図りました。(11)の「適切な評価と個に応じた指導」では、習熟度別少人数指導を行いました。評価は今後も評価基準を明示し、適正な根拠の基に評価を行っていきます。

## 【道徳】

(12)生徒に、人を思いやる優しい気持ちが育つてきている。



(13)学校は、子どもの人権を尊重する姿勢を持つて教育活動に取り組んでいる。



[分析](12)の「思いやる気持ちの育成」については、肯定的な回答は昨年度並でした。来年度から実施される「道徳科」の授業において、生徒の道徳性を育み、成長を見取り、励ます指導を推進します。(13)の「人権教育」については、各学年ともに肯定的な回答が7割程度を示しています。人として最も大切なことである人権尊重の精神を全教育活動の基盤として取り組みます。